

千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会



# 福祉教育部会報

## 高校で福祉を学ぼう

千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会編

千葉県立中央高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立総合高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央西高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央南高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央東高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央北高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央南高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央東高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央北高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央南高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央東高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央北高等学校 TEL: 0476-321-1001

広報誌「高校で福祉を学ぼう～人と人をつなぐ」は、昨年度、千葉県福祉・介護人材確保対策事業のひとつとして、本部会が提案・申請し、予算措置され、刊行にいたりました。

うれしいことに、千葉県内の福祉関連高校の活動が、とてもよくわかると、大変好評を博しました。

今年度も、予算をつけていただき、Part IIを作成することができました。9月末には、県内の公立中学校、福祉関係高校、特別養護老人ホームをはじめ、関係機関に送付しました。

今回は、声(想い)をテーマに考えました。福祉関係高校に在学する生徒が、なぜ「福祉」分野を志したのか、福祉を学ぶ生徒を見守る保護者の想いは、さらに、卒業生、介護実習でお世話になっている施設長の想いを多く掲載しました。

この冊子を見て、中学生の皆さんが、少しでも「福祉」分野に興味をもってもらえれば、こんなにうれしいことはありません。

生徒の声 Student's Voice

卒業生・介護施設長の声

福祉関係高校に在学する生徒が、なぜ「福祉」分野を志したのか、福祉を学ぶ生徒を見守る保護者の想いは、さらに、卒業生、介護実習でお世話になっている施設長の想いを多く掲載しました。

# 高校で福祉を学ぼう

千葉県立中央高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立総合高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央西高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央南高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央東高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央北高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央南高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央東高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央北高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央南高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央東高等学校 TEL: 0476-321-1001  
 千葉県立中央北高等学校 TEL: 0476-321-1001

千葉県内で福祉を学べる高校

千葉県福祉人材確保・定着推進協議会  
 千葉県高等学校教育研究会 福祉教育部会

# 産業教育フェア

8月2日(金)、3日(土)の2日間、千葉県立現代産業科学館で、千葉県高等学校産業教育フェアが行われました。福祉を含めた、工業、商業、農業、水産、家庭、看護、総合、情報のいずれのブースも、とても魅力的なものとなっており、まさに、見て、触れて、体験のできた、専門学科のことをよく知っていただくことのできた2日間だったと思います。福祉のブースでは、点字体験、福祉レクリエーション、電動車いす試乗体験を行いました。



## 福祉関連高等学校生徒交流会

8月2日(金)、午前9時30分から、現代産業科学館会議室で、県内の福祉関連高等学校生徒の交流会が行われました。これが第1回目となります。

自己紹介の後、DVDを視聴しました。ドキュメンタリー「泣いて、笑って、寄り添って」(山口放送提供)のものです。見終わったあとの生徒たちの感想を聞いて、生徒たちが真剣にみていたこと、福祉についてきちんと考えているということが、十分に伝わってきました。

今後も、生徒同士の交流は必要なことと考えます。福祉教育部会として、このような場の設定を積極的に行っていくことが大切であると考えます。

### 日程

- 9:20～ 9:30 受付
- 9:30～ 9:40 開会行事
- 9:40～ 9:50 各校参加者自己紹介
- 9:50～ 11:20 DVD視聴
- 11:30～ 12:00 感想発表、情報交換
- 12:00～ 12:30 産業教育フェア見学
- 12:30～ 閉会行事

### 視聴DVD

NNNドキュメンタリー  
『笑って泣いて寄り添って・リエとナオミ10年の記録』



### (DVDを観ての感想及び 交流会に参加しての感想)

2人の介護への強い気持ちと、病気にかかっても、自分のやりたい仕事だからといって、最後までやり遂げようとするのは、とてもすごいことだと思った。

たくさんの交流ができて、とてもよかった。

福祉の仕事は、お年寄りの方を好きなだけではできないが、好きだからこそお年寄りのことを思っ  
て一人一人にあった介護ができるのだと思った。

県内の福祉関連高校の生徒が集まり、情報交換できてよかった。

DVDを観て、「福祉は人を育てる」と強く感じた。2日前まで、実習に行かせていただいていたが、利用者さんに『ありがとう』と言われて、うれしいと思うのは一緒だった。改めて、介護職はやりがいのある仕事だと思った。

感動的なDVD視聴や産業教育フェアの展示をみて、とても楽しませてもらった。機会があれば、また参加したい。

DVDを観て感じたのは、

- ・仕事だからではなく、相手のことを考えるのも大事
  - ・個人を尊重することも大事
  - ・利用者さんとのコミュニケーションがとても大切
  - ・個人のニーズに合わせる
  - ・相手に喜んでもらうことが一番
  - ・介護系の経営をたくさんやることは難しい 等
- ドキュメンタリーを観て、介護への思いが、さらに増した。今日感じたことを介護実習で生かしていきたい。

DVDを観て、あきらめなければ夢は叶うことを学んだ。現代産業科学館内を見学させていただいて、とてもおもしろい場所だと思った。介護することが、流れ作業にならないように、ノートを1冊ずつ用意し、利用者さんの様子を書き込んでいたことが、とても参考になった。情報交換や産業教育フェアを見学して、他校で、どのような授業をしているのかがわかったのと、幕張総合高校看護実習ノートがとても丁寧に書かれていたのをみて、自分も丁寧に書いていこうと思った。

リエさんとナオミさん、本当にすごいと思った。

最初2人で事務所をつくって訪問介護を行いながら、夢である施設づくりに向かっていく。申請しても許可が下りなかったこともあったが、最終的には、2人の努力が認められて、施設（グループホーム）をつくることができたのはすごいと思った。スタッフも増え、訪問介護、デイサービス等、2つ3つの形態をこなしていったのもすごい。利用者さんのことをよく考えて優しく接している。利用者さんをよくみて、利用者さんができることは、利用者さんにやってもらうというのもよいと感じた。私も、このような施設で介護の仕事をしたい。参加して、とても楽しかった。感じる人が多い1日だった。

施設（大きい）では、流れ作業になってしまう。実習で経験したとはいえ、つらいし、残念に思う。人材豊富になれば、もっとしっかり関わっていけるのに。人が多ければよいという話しでもない。お年寄りを好きで関わっている人と、そうでない人とでは、ケアの密度が違う。人をもっと好きになってほしい。介護している人が偉いとか、そんなことはない。お互いがお互いに支え合い、成り立っていることを忘れずにいたい。リエさんとナオミさんは行動力があり、立派な方だと思った。思っていることをなかなか行動に移せずにいることが多いので、見習いたいと思う。自分も慣れてしまっただけで流れ作業にならないように、万が一、流れ作業になってしまったら、それに気づけるようにしたい。また、そのようになってしまった人がいたとしたら、そうなるのはだめだと、しっかりとと言えるように自分の心をもっていたい。

産業教育フェアに初めて参加して、とてもにぎやかで楽しいところだと思った。子どももたくさんいて、楽しんでもらえたのではないだろうか。情報交換の場をもっと設けてほしいと思う。

お年寄りの手伝いは、すごく大変なことだけど、「ありがとう」のことばで、また頑張ろうという気持ちになれると思った。利用者さんを介護することで大切なことは、利用者さん一人一人をしっかりと理解し、接していくことだと感じた。

DVDを観て、すごく勉強になった。化学はあまり好きではなかったが、いろいろな実験をみておもしろいと感じた。

笑顔でお礼を言われると、確かにうれしいなど思った。心で繋がる介護というものが、DVDを観て、よくわかった。利用者さん一人一人をきちんと大切にみて、自立支援や介護をしっかりと行っていた。とても大変だが、やりがいのある仕事だなと感じた。

見学して、バイオテクノロジーや、光、3Dなど、すごく楽しかった。とても大きなシャボン玉ができて楽しかった。

ドキュメンタリーを観て、去年や今年の6月におこなった介護実習とは違った風景だと感じた。自分の考えだが、大きな老人ホームや施設では、利用者さんの数も多く、職員が忙しくなってしまう、利用者さんにあった介護ができづらくなることもあるのかも知れない。DVDの中での訪問介護は、時間は限られてしまうが、利用者さん一人一人にあった介護ができ、コミュニケーションがよくとれていた。それによって、利用者さんの状態や、思っていること、悩み等がわかってくるのではないだろうか。

# 加盟校の取組 千葉県立松戸向陽高等学校

## 県立学校開放講座「親子で学ぼう」福祉体験

県立松戸向陽高校の県立学校開放講座で、親子（児童とその保護者）対象に、福祉体験が行われました。福祉教養科7名がアシスタントをつとめ、グループにつき、進行の手助けをしてくれました。

### （ブラインドウォーク体験）

最初に、参加児童にアイマスクをつけて歩行してもらいました。終了後、「こわかった。」「距離が長く感じた。」等の感想が語られていました。2回目は、アシスタントの生徒が指示を多く伝えながら（ガイドヘルプ）、児童に歩行してもらいました。児童たちは、1回目と2回目を比べ、的確な指示の必要性をまなびとりました。アシスタント生徒から、ガイドヘルプの手ほどきを受けた児童は、アイマスクをつけたお母さんを、リードしました。

社会の中で、目が不自由な方になされている配慮について、スライドを使って、考えてもらいました。職員の質問に、児童たちは積極的に発言してくれました。



### （点字体験）

続いて、点字体験を行いました。まずは、点字で記された指令を、親子で協力しながら、アシスタント生徒の助けを受けながら、解読していきました。次に、点字を打つ作業ですが、お母さんも、児童も、本当に真剣そのものでした。

体験をとおして、親子でいろいろなことを知り、考えるきっかけとなったことと思います。



### （保護者の感想）

- ・アイマスクや点字といった、小学校ではなかなかやらない体験ができたので、親子ともども貴重な経験ができた。
- ・ふだん、なかなか体験できないことを、経験、勉強できて、とても楽しかった。いろいろと知ることができ、参加してよかったと思った。
- ・高校生ともコミュニケーションをとることができて、楽しかった。点字を打つ体験は、とても貴重な経験になった。

### （児童の感想）

- ・目が不自由な人が大変だということがわかった。
- ・福祉体験では、目の不自由な人の気持ちがよくわかる内容だった。点字ブロックの打ち方もわかった。目の不自由な人をみかけたら、助けてあげようと思う。

### （今後、県立学校開放講座で取り扱ってほしい内容）

- ・また、福祉に関する体験をやってもらえるとうれしい。
- ・福祉分野の作品づくり（折り紙等）も楽しいかなあと思う。
- ・福祉体験のように、人を思いやる心が育つ講座は、親としてもとてもありがたい。

